

## 「私たちの道徳」活用状況等調査結果

【調査の趣旨】 道徳教育用教材「私たちの道徳」の活用状況等を把握し、今後の道徳教育の取組の参考とするため調査を行う。

【調査の方法】

(1) 調査方法 全ての公立小学校及び中学校，全ての都道府県及び指定都市教育委員会を対象とした調査票による調査

(2) 調査対象 全ての公立小学校，中学校（中等教育学校の前期課程を含む。）及び都道府県・指定都市教育委員会とする。

○小学校 20,262校

○中学校 9,658校

○都道府県・指定都市教育委員会 67委員会

【調査の実施時期】 平成26年7月15日～8月29日

【目次】

I. 学校における取組（小・中学校）

1	道徳の時間に使用する教材について・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	「私たちの道徳」の使用場面について・・・・・・・・・・・・・・・・	3
3	「私たちの道徳」の配布について・・・・・・・・・・・・・・・・	4
4	「私たちの道徳」の活用について・・・・・・・・・・・・・・・・	6

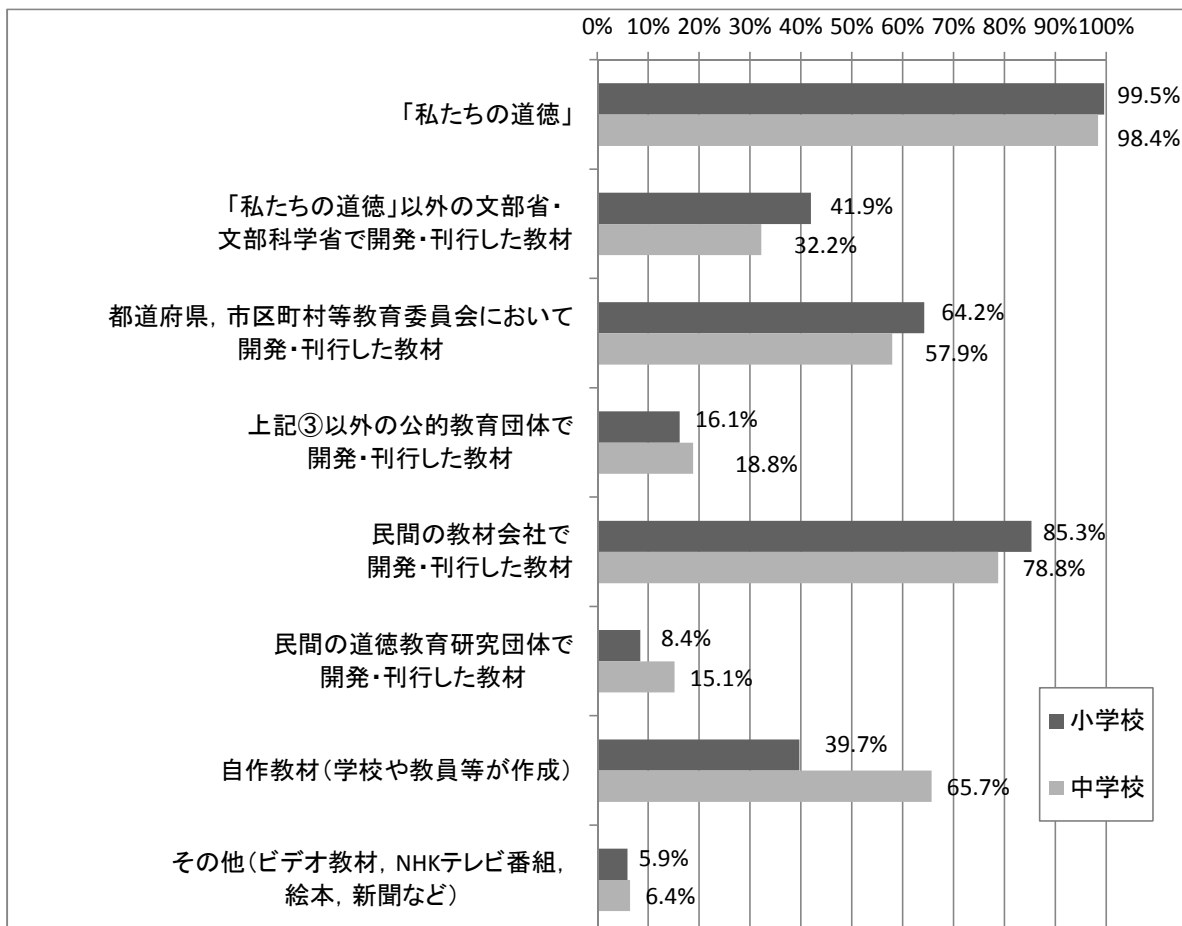
II.	都道府県・指定都市教育委員会における取組・・・・・・・・	8
-----	------------------------------	---

# I. 学校における取組(小・中学校)

## 1 道徳の時間に使用する教材について

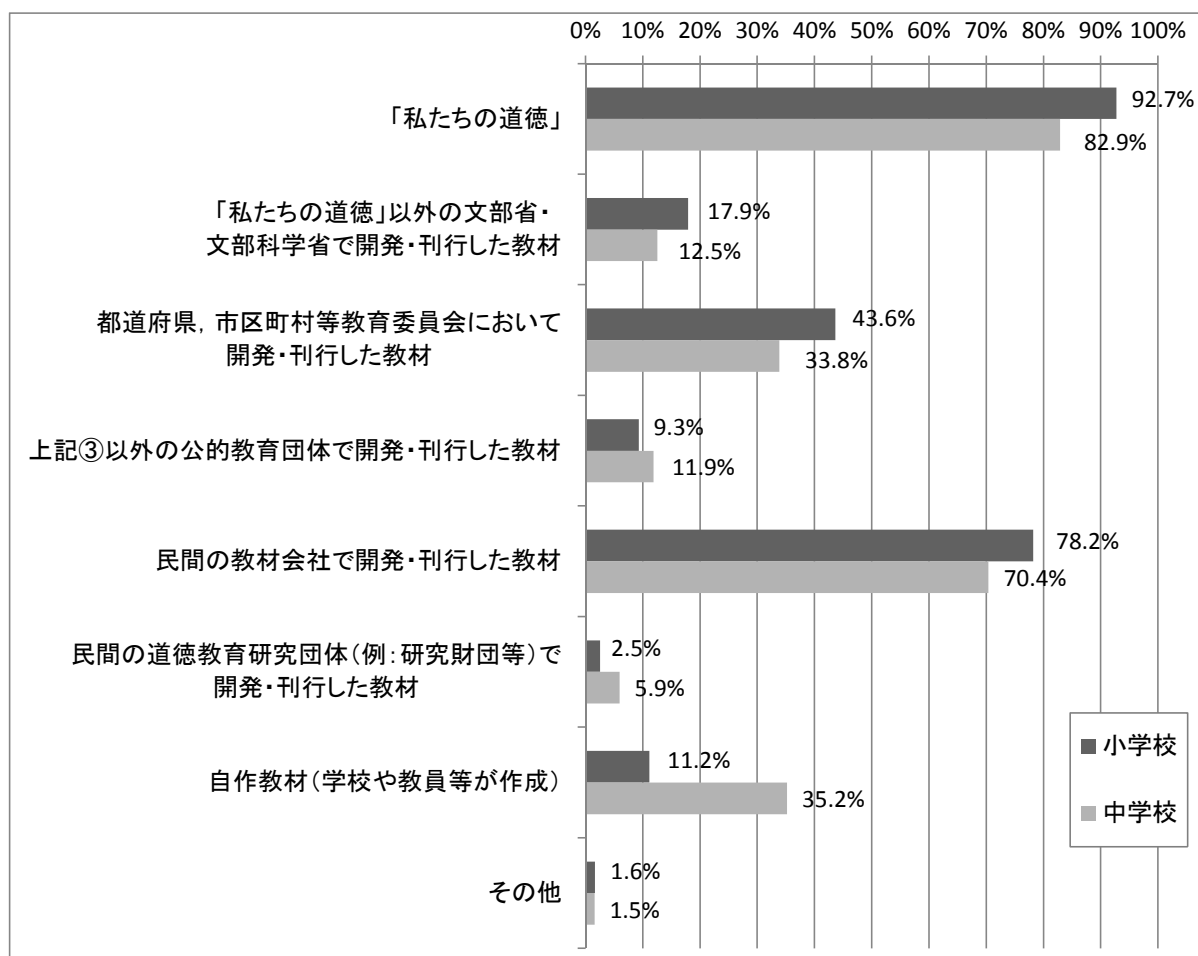
- (1) 平成26年度の道徳の時間の指導でどのような教材を使用していますか。該当するものを全て選んでください。(平成26年度中の今後の予定含む。)

		小学校	中学校
①	「私たちの道徳」	99.5%	98.4%
②	「私たちの道徳」以外の文部省・文部科学省で開発・刊行した教材	41.9%	32.2%
③	都道府県, 市区町村等教育委員会(教育事務所, 教育センター等含む)において開発・刊行した教材	64.2%	57.9%
④	上記③以外の公的教育団体(例: 市町村教職員研究会, 校長会等)で開発・刊行した教材	16.1%	18.8%
⑤	民間の教材会社で開発・刊行した教材	85.3%	78.8%
⑥	民間の道徳教育研究団体(例: 研究財団等)で開発・刊行した教材	8.4%	15.1%
⑦	自作教材(学校や教員等が作成)	39.7%	65.7%
⑧	その他	5.9%	6.4%



(2) 平成26年度の道徳の時間の指導で主に使用している教材を以下の①～⑧から一つ以上三つまで選んでください。(平成26年度中の今後の予定含む。)

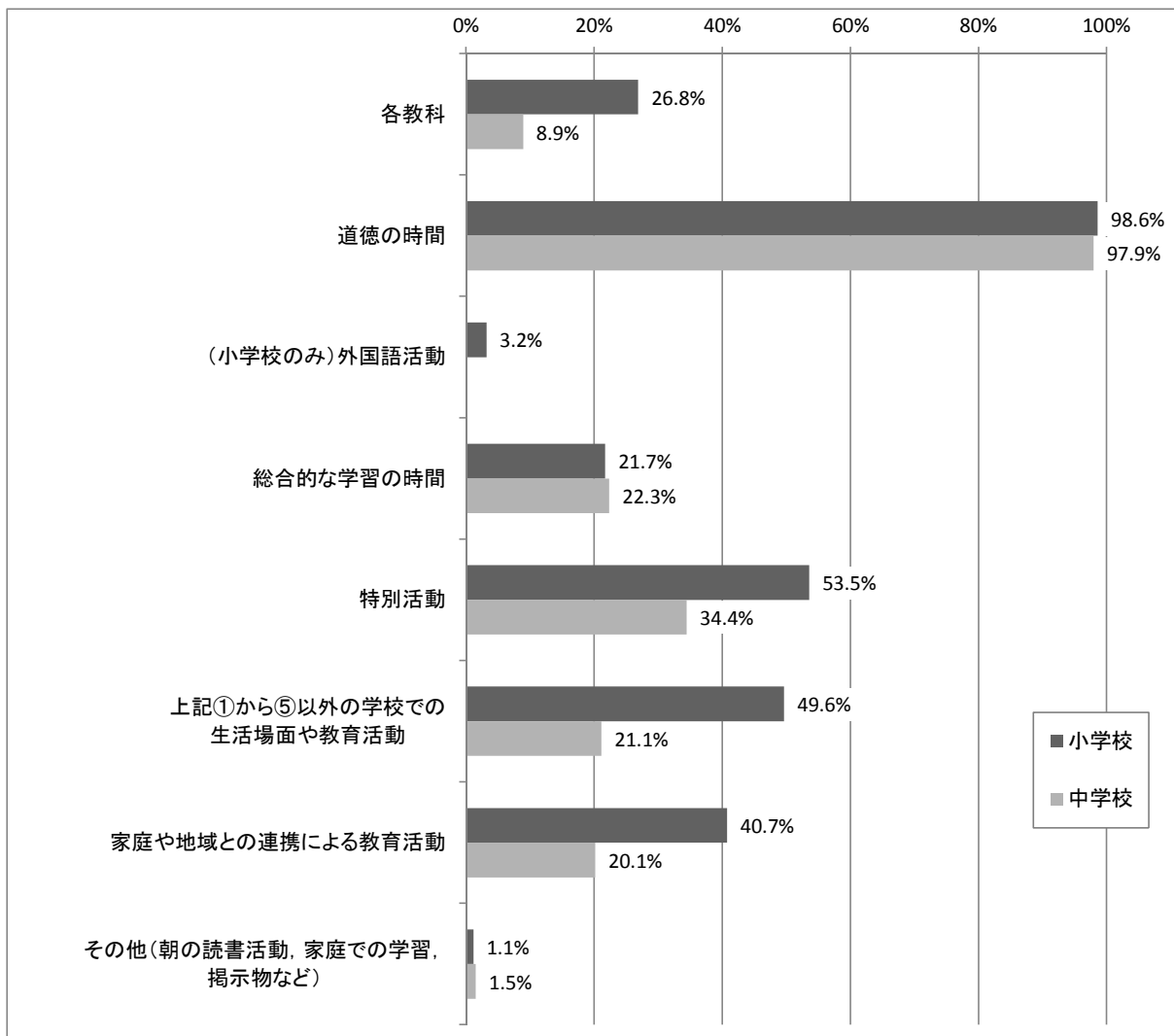
		小学校	中学校
①	「私たちの道徳」	92.7%	82.9%
②	「私たちの道徳」以外の文部省・文部科学省で開発・刊行した教材	17.9%	12.5%
③	都道府県, 市区町村等教育委員会(教育事務所, 教育センター等含む)において開発・刊行した教材	43.6%	33.8%
④	上記③以外の公的教育団体(例: 市町村教職員研究会, 校長会等)で開発・刊行した教材	9.3%	11.9%
⑤	民間の教材会社で開発・刊行した教材	78.2%	70.4%
⑥	民間の道徳教育研究団体(例: 研究財団等)で開発・刊行した教材	2.5%	5.9%
⑦	自作教材(学校や教員等が作成)	11.2%	35.2%
⑧	その他	1.6%	1.5%



## 2 「私たちの道徳」の使用場面について

平成26年度に、「私たちの道徳」を学校の教育活動のどのような場面で使用していますか。該当するものを全て選んでください。(平成26年度中の今後の予定含む。)

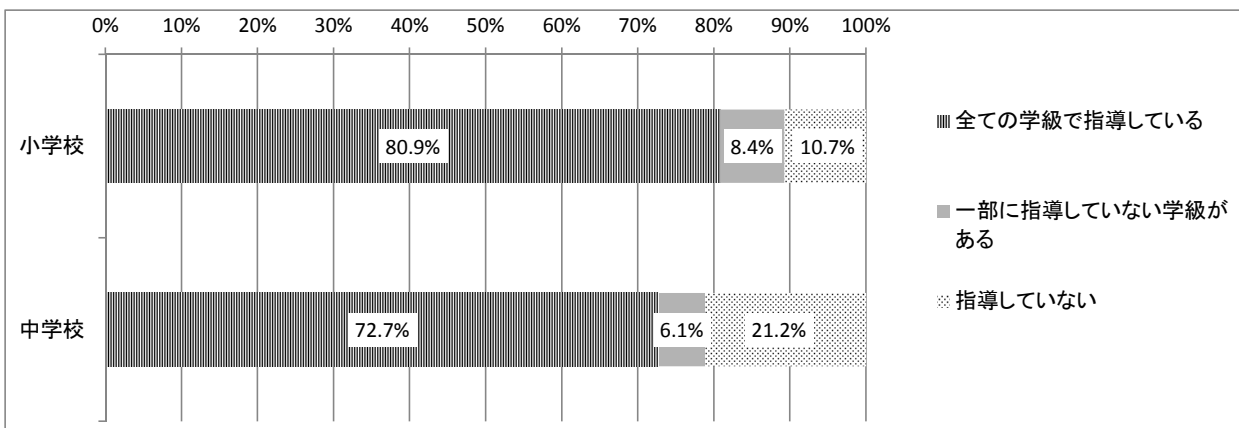
		小学校	中学校
①	各教科	26.8%	8.9%
②	道徳の時間	98.6%	97.9%
③	(小学校のみ)外国語活動	3.2%	
④	総合的な学習の時間	21.7%	22.3%
⑤	特別活動	53.5%	34.4%
⑥	上記①から⑤以外の学校での生活場面や教育活動	49.6%	21.1%
⑦	家庭や地域との連携による教育活動	40.7%	20.1%
⑧	その他	1.1%	1.5%



### 3 「私たちの道徳」の配布について

「私たちの道徳」は、児童生徒が持ち帰って家庭や地域等でも活用することができるように一人一人に配布いただくことを念頭に作成したものです。その趣旨をふまえて、学校に置いたままとせず、家庭に持ち帰るようこれまで(回答時まで)に指導をしていますか。

		小学校	中学校
①	全ての学級で指導している	80.9%	72.7%
②	一部に指導していない学級がある	8.4%	6.1%
③	指導していない	10.7%	21.2%



【(1)で、②又は③と回答した場合の理由及び今後の対応策(主なもの)】

(指導していない理由)

忘れ物や紛失を防ぐため。
配布されたばかりで周知が足りず、趣旨や内容を把握できていなかったり、共通理解が図れていなかったりしたため。
道徳の時間だけでなく、学校生活の様々な場面で必要な時にすぐに使用するため。
1学期は学校での活用を優先しており、家庭・地域での効果的な活用については、2学期以降に予定していたり、検討中であつたりしたため。
家庭で記入してもらう場合のみ、必要なページを印刷して持ち帰らせていたため。

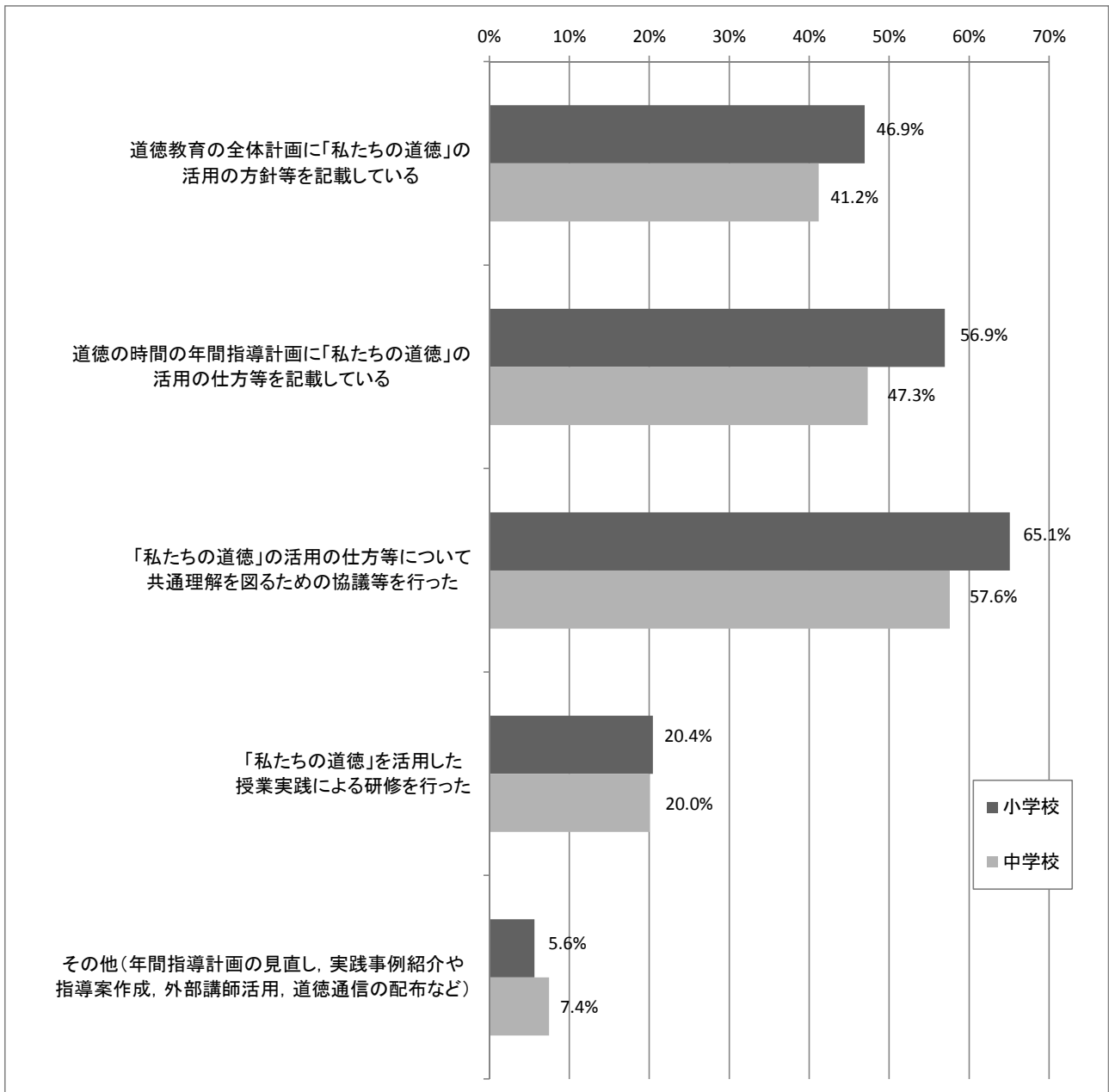
(今後の対応策)

児童生徒には忘れ物をなくすための指導を徹底したり、保護者には趣旨や活用方法を説明したりする。
趣旨や内容、活用方法等について、職員会議や校内研修で共通理解を図るとともに、家庭・地域での活用については、学級懇談会や学校・学級通信を出すなどにより保護者の理解と協力を得る。
職員研修の時間を設定し、教育活動との関連や年間指導計画への位置付け等について共通理解を図り、全職員で組織的・計画的に活用する。
2学期以降は趣旨や内容、活用方法等を職員間で協議するとともに共通理解を図り、その後、保護者に説明するなどして、家庭・地域での活用を図る。
忘れ物防止の指導を徹底したり、保護者に保管をお願いしたりするとともに、学校・家庭・地域での活用方法等についても説明を行い、持ち帰りを実施する。

#### 4 「私たちの道徳」の活用について

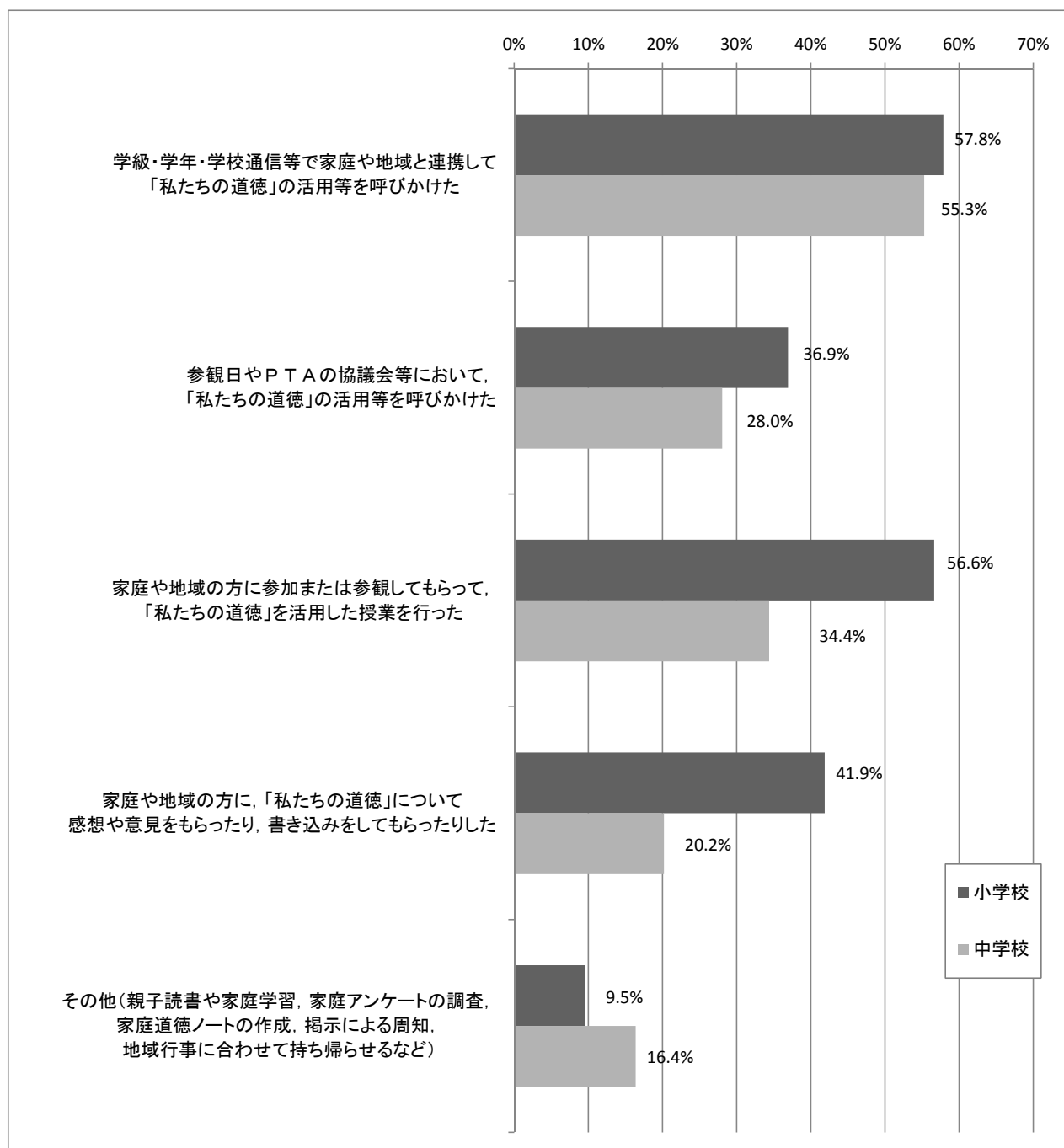
- (1) 「私たちの道徳」を学校で効果的に活用するために、平成26年度に学校においてどのようなことに取り組んでいますか。該当するものを全て選んでください。(平成26年度中の今後の予定含む。)

		小学校	中学校
①	道徳教育の全体計画に「私たちの道徳」の活用の方針等を記載している	46.9%	41.2%
②	道徳の時間の年間指導計画に「私たちの道徳」の活用の仕方等を記載している	56.9%	47.3%
③	「私たちの道徳」の活用の仕方等について共通理解を図るための協議等を行った	65.1%	57.6%
④	「私たちの道徳」を活用した授業実践による研修を行った	20.4%	20.0%
⑤	その他	5.6%	7.4%



(2) 「私たちの道徳」を家庭や地域と連携して活用するために、平成26年度に学校においてどのようなことに取り組んでいますか。該当するものを全て選んでください。(平成26年度中の今後の予定含む。)

		小学校	中学校
①	学級・学年・学校通信等で家庭や地域と連携して「私たちの道徳」の活用等を呼びかけた	57.8%	55.3%
②	参観日やPTAの協議会等において、「私たちの道徳」の活用等を呼びかけた	36.9%	28.0%
③	家庭や地域の方に参加または参観してもらって、「私たちの道徳」を活用した授業を行った	56.6%	34.4%
④	家庭や地域の方に、「私たちの道徳」について感想や意見をもらったり、書き込みをしてもらったりした	41.9%	20.2%
⑤	その他	9.5%	16.4%

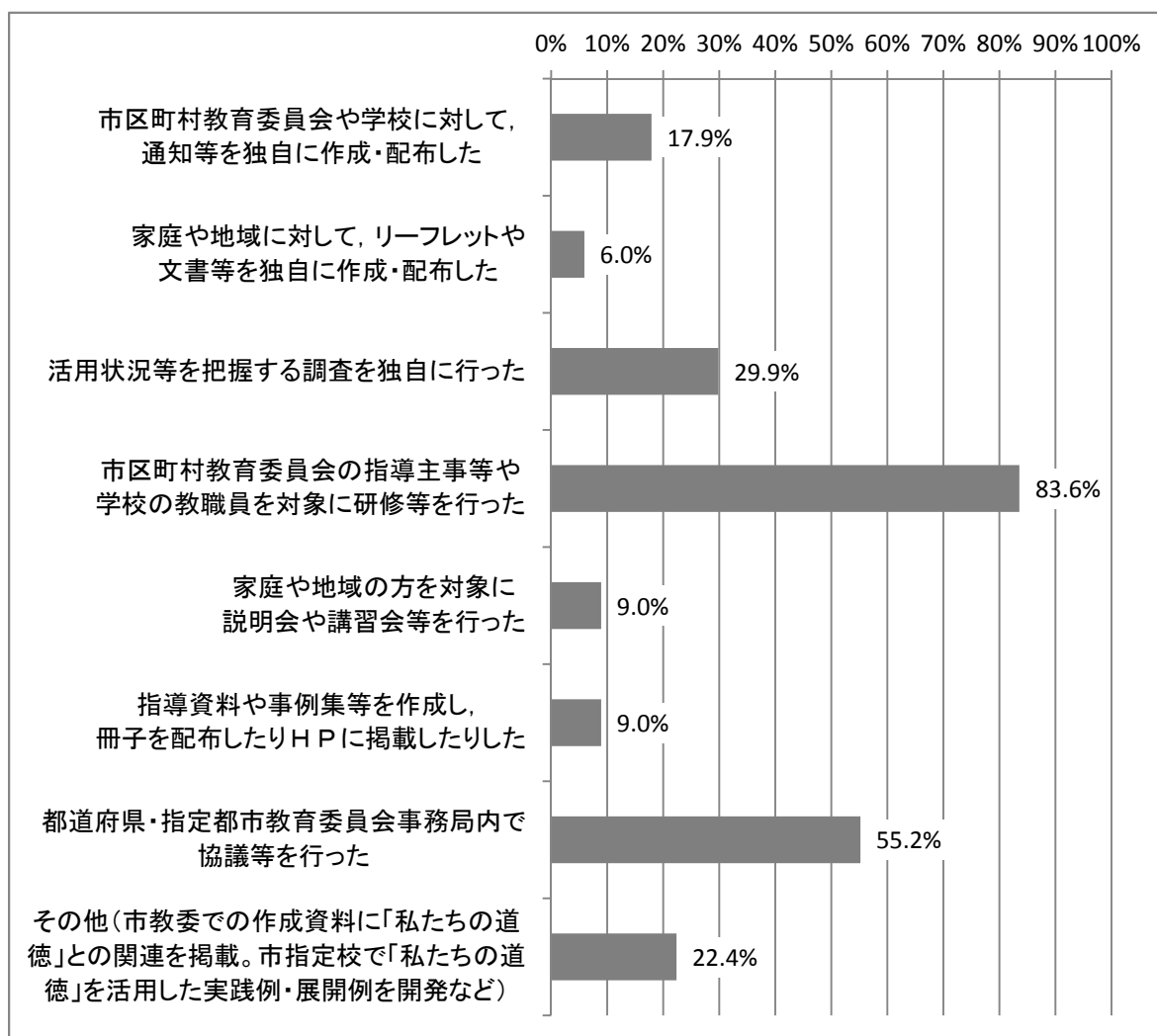




## Ⅱ. 都道府県・指定都市教育委員会における取組

問 「私たちの道德」の活用推進のために、平成26年度、都道府県・指定都市教育委員会でどのような取組を行っていますか。該当するものを全て選んでください。（平成26年度中の今後の予定含む。）

①	市区町村教育委員会や学校に対して、「私たちの道德」の活用推進のための通知等を独自に作成・配布した	17.9%
②	家庭や地域に対して、「私たちの道德」の活用推進のためのリーフレットや文書等を独自に作成・配布した	6.0%
③	「私たちの道德」の活用推進のため、活用状況等を把握する調査を独自に行った	29.9%
④	市区町村教育委員会の指導主事等や学校の教職員を対象に「私たちの道德」の活用推進のための研修等を行った	83.6%
⑤	家庭や地域の方を対象に「私たちの道德」の活用推進のための説明会や講習会等を行った	9.0%
⑥	「私たちの道德」の活用推進のための指導資料や事例集等を作成し、冊子を配布したりHPに掲載したりした	9.0%
⑦	都道府県・指定都市教育委員会事務局内で「私たちの道德」を活用推進するための協議等を行った	55.2%
⑧	その他	22.4%



◇「私たちの道徳」の内容等について都道府県・指定都市教育委員会から寄せられた意見(主なもの)

(活用のための事例集等の作成を求めるもの)

- ・家庭や地域での具体的な活用方法についての資料等があると、「私たちの道徳」の活用が更に進むと考える。
- ・学校からは「今年度の年間指導計画に位置付けられなかった。」や、「指導書の配布を急いでほしい。」という声があった。
- ・「私たちの道徳」を活用したよい取組が多くあるので、機会があるごとに紹介し、活用を推進していきたい。
- ・活用の手引きが同時に発刊されていれば、学校での活用がスムーズに進められたと思う。
- ・活用に当たって、実践例等を作成したり、活用に係る研修を充実させたりしていくことが必要。
- ・活用に当たって、事例(指導案のようなもの)を示してほしい。例えば、書き込み欄は、指導者がワークシートを作る際の参考になっているが、指導案に書き込み例が示されることにより、各教科やその他学校の教育活動での活用がよりイメージしやすくなる。

(「私たちの道徳」の内容に関わるもの)

- ・全ての資料に掲載されているイラストや写真が、Webサイトから画質が良い状態でダウンロードできれば、板書などに生かそうとする教員が飛躍的に増えると思われる。著作権の問題をクリアしたものだけとなると思われるが、是非御検討いただきたい。
- ・内容項目に合わせ、読み物資料の数が増えていくとよい。
- ・読み物資料に力があり、教材として活用しやすい。
- ・児童生徒に伝えたいすてきな言葉やフレーズがあり、道徳の時間だけでなく、他の教科の時間にも短時間で活用できる。
- ・各学校で同じものを扱うことで、他校の実践や研修内容が共有できる。
- ・家庭において親子で話し合う題材として活用しやすい。
- ・「心のノート」よりも書き込み欄が増え、道徳の時間だけでなく、他の教科でも活用しやすい。
- ・場面の状況がつかみやすい挿絵の工夫が必要である。
- ・文字のフォントが大きく、スペースにも余裕がある部分がたくさんあり、全体的にページ数が多くなっているため、改善が必要である。
- ・地域での活用を推進するため、地域の人々の参加を引き出すような内容を加えてほしい。また、児童生徒の自主的な活用を促す内容や表現を工夫してほしい。
- ・研修において、Webサイトで「私たちの道徳」が公開されていることを紹介したところ、ICTを活用して授業で生かしたいという反応があった。「私たちの道徳」には、日本の伝統文化、自然の様子、礼儀作法など、動画や音声で紹介されると、より効果的であると思われる内容がある。紙面に載せることのできない、動画や音声の情報についてWebサイトで提供することも、「私たちの道徳」の有効活用につながると思われる。
- ・以前からあった書き込み欄に加え、読み物資料が充実したことで、1単位時間の道徳の授業で活用しやすくなった。また、手軽に読めるコラム等が充実した点も評価できる。
- ・イラストや写真、挿絵等も発達段階を意識しており、児童生徒が自然とページをめくっていくような配慮が感じられる。

・読み物資料や人物のコラム、先人等の名言・格言など読み物部分の充実により、「道德の時間」における授業の構想に一定の方向性が見いだせるようになったという声が現場の教師から届いている。喫緊の課題であるいじめの問題に対して、善悪の判断や信頼、友情、規範意識、公正・公平、生命尊重など重点化した内容が明確に位置付けられ、道德の時間はもちろんのこと、道德教育全般において、焦点化した指導を行いやすくなった。いじめの問題や情報モラルについては、家庭や地域と連携して児童生徒の健全育成に取り組むよいきっかけとなっている。

・中学校の「私たちの道德」には、小学校のものと比べて3年間記入できるようなスペースはないので、学校には別に紙を貼るなどの対応をするよう指導している。

(「私たちの道德」の持ち帰り等に関わるもの)

・内容が充実してより道德の時間に活用しやすくなった。また、家庭での声を聞く欄も増えたので、学校と家庭の連携もしやすい。しかし、低・中学年では、分厚いので持ち帰りが困難であるという声も挙がっている。

・家庭での活用を推進するために、「私たちの道德」を持ち帰らせる指導を学校に行っているが、持ち帰らせた場合、紛失や忘れ物等で道德の時間や総合的な学習の時間に使用するとき不具合が起きることが想定される。その場合の対応として、文部科学省のHPに掲載されているものの活用等をお願いしている。児童生徒や家庭への十分な指導が必要ではあるが、学校現場が苦慮しているところもある。

(「私たちの道德」の幅広い配布を求めるもの)

・学校用として、「私たちの道德」全四冊を2部ずつ(校長、道德教育推進教師用として)配布すべき。

・高等学校に、「私たちの道德」の中学校用を配布すべき。

・学校の教育活動全体での活用を目指すため、担任以外の教員にも配布してほしい。